

石橋工務店の思い 『次なる創業。100年のその先へ。』

1921年、諫早市で石橋重平が大工としての一步を踏み出しました。これが石橋工務店の始まりです。

「素直な心でお客様と真っ直ぐ向き合い、当たり前のことを当たり前に行く。」その精神は脈々と受け継がれ、社是である『本物の家づくり』に形を変えています。

かつて住宅は、雨風をしのげる場。最低限の暮らしを出来ればよい。という考え方から、安全に。健康に。と進化してきました。しかし、現代は安全で健康な家は当たり前になっています。そして住宅に求められているものは変わってきているのだと感じます。現在を生きる私たちが住宅に求めているものは、デザイン性や快適、趣味を楽しめる空間、家族の憩いの場と変化してきました。そのなかで現代の人たちが求めるものは、感動、嬉しくなるような体験を通して、なりより豊かな生活空間が求められているのだと思います。石橋工務店は、住宅という建築物を通して、「そこに暮らす家族の弾けるような笑顔を皆様にお届けしたい。」と考えている企業です。

『本物の家づくり』とは何か？

それは、住居において日本の風土に最適な木材を使い、在来工法の素晴らしさを生かしながら、現代にフィットする快適さ、スタイリッシュさをアップデートしています。

住宅を施工できる自社大工、日本の伝統を守るため社寺仏閣を施工できる自社大工の育成に力を入れています。大工、宮大工ともに職人育成には手間や時間がかかりますが、いずれも廃れさせてはいけない日本の技術、人材だと思っています。

施工面では高気密・高断熱住宅の問題点であるシックハウス症候群のない「季節を呼吸する家」を展開し、健康住宅としての評価をいただいています。

デザイン面では全国の有名建築家とコラボしたデザイン住宅を提案。この取り組みから生まれた作品は、イタリアのデザインコンペで受賞するなど国際的にも高く評価されています。

お客様との対話面では、ゆっくりと家づくりのご相談をお受けするためのオープンハウス、完成見学会はもちろん、常設展示場のモデルハウス「Lien」はこれからの次世代に向けたZEH住宅を仕様ならではの見学ができます。また、定期的に家づくりのセミナーやイベントを開催しています。また、オンラインによる相談会も行っています。

私たちの挑戦は家づくりだけに止まりません。「そこに暮らす家族の弾けるような笑顔を皆様にお届けしたい。」という信念から「空間をデザインする。」というコンセプトのもと、家具・インテリアをお届けする、「ROUTE34 FURNITURE」を2019年にオープンさせました。

変わらないもの、変わるもの、どちらも大切にしながら、

次なる創業。100年のその先へ。

「あなただけの家値を - ワンストップ・ソリューションの100年企業」

「バシッとイシバシ！」

石橋工務店は、歩み続けます！

令和3年4月1日 株式会社石橋工務店 代表取締役 石橋 光成